

○奈良教育長 教育委員会協議会を開会します。

まず、教育委員会の活動状況について事務局から報告をお願いします。

乾口教育政策課長。

○乾口教育政策課長 教育委員の活動についてご説明いたします。

資料をごらんください。

5月1日から5月31日までの活動内容といたしまして、活動日、活動内容、活動場所、活動出席委員名として、記載しております。

以上、簡単ではございますが、教育委員の活動の説明とさせていただきます。

○奈良教育長 続きまして、委員の活動について、所感の報告をしたいと思います。

それでは、委員を代表して近藤委員から報告をお願いいたします。

○近藤委員 はじめに、前回第5回定例会で谷元委員の所感にあったとおり、大阪府都市教育委員会の連絡会議での大阪の教育の講演内容の「若返る教員室」あるいは、なり手不足の教員についてですけれども、市町村教育委員会時報の280号の中で、滋賀大学の近藤教授の投稿で、「若手教員増加時代の人材育成の課題と手法」と題して、さまざまな状況に即したOJTの確立などが述べられております。

印象に残りましたのは、教育委員会さらに学校の双方で若手が若手を育てるという攻めのコンセプトを教育戦略に位置づけることを大切にしたい、また、ベテランから若手への技術伝達にとどまらず、若手教員と新任若手教員の学び合いも教員全体の教育力増量性向上に有効と捉え、具体化を図る姿勢が重要となると提案されておられます。

現状、2020年でのプログラミング教育や英語教育に関しては、逆に先入観のない前例のない教育をしていただくわけですから、絶好のチャンスとも考えております。

補足で、教員のなり手不足、人手不足はこの業界におきましても、喫緊の課題でございます。労働人口も減少が確実に進む中、対策を打つべく働き方改革というより、私自身感じますのは、働く意識改革や職場に対するさらなるプライド形成が重要と感じます。

自分の仕事が社会にどれほど役に立ち、感謝され、自分の仕事に誇りを持てるか、あるいは、自信を持てるかであるかと思えます。また、一生懸命努力してもなかなか成果が出てこないという場合ですと、再度、戦略、戦術、戦法を組み直し、効果の出る実行手法を絶えず精査する必要があるかと思えます。

言い古された言い方で申しわけございませんが、PDCA（Plan、Do、Check、Action）というような言葉がございましたけれども、今、欧米では経営修士課程、MBAといわれるものの中では、全く違う発想をしておられ、このDoのところをもっと細かく分けておられ、OODLという、OはObserve、観察をすると、経過を見るということで、その次はO、Orient、最適化をはかるにはどうしたらいいかと、その次はDですので、Decide、決める。決定しましたら、最後はLでLoop、引き続き反復、それをさらに続けていくという流れでPDCAをさらに精度の高い環境変化の速度についていくものというようなことが、MB

Aの中では深く書かれているということを確認させていただきました。

これ、全てがいいとも思いませんが、変革をもってチャレンジしてまいりましょう。

最近、皆様、目にしておられるかと思えますけれども、吉村大阪府知事は吹田市のいじめ事案もあり、教育委員会の弊害化を非常に懸念されている発言がございました。

極論でいいますと、教育委員会不要説まで述べておられます。結果が伴わない組織は不要という激励と私は受けとめています。校長が変われば学校が変わる。校長を変えるのは教育委員会、教育委員会を変えるのは、教育委員と双方よい意味での緊張感を持って、あすの枚方市の教育をさらに昇華させてまいりましょう。

最後に、国立教育政策研究所の千々布先生の著書、「学力がぐんぐん上がる急上昇県の秘密」は早速拝読させていただきました。この中では、秋田県、福井県、県単位以外に市単位で枚方市が取り上げられており、高い評価を受けております。職員の皆様、現場の職員の皆様の日々の積み上げが取り上げられたわけでございます。

しかしながら、まだまだ、道半ばであり、子供たちに心・徳・体のバランスのとれた将来の来るべきシンギュラリティに対応できる資質を身につけてもらう教育への熟成を重ねてまいらねばなりません。

来年にひかえました英語教育、プログラミング教育のスタートに向け、さらに日々、皆様の創意、工夫を期待いたします。本日は、大阪初のG20の2日目で、昨日からテレビ、新聞などで話題にあがっておりますが、2025大阪万博に向けての関西圏のインフラ整備がさらに進み、大阪の魅力の発信をもって、大きく世界から注目を浴びることになります。

教育では、大阪府に教育先進都市の枚方市があるという市民プライドを築くべくさまざまな改革、イノベーションを迅速にしっかりと進めてまいりましょう。以上でございます。

○奈良教育長 近藤委員、ありがとうございました。

本日の協議会の案件は、以上となりますので、協議会を終了いたします。